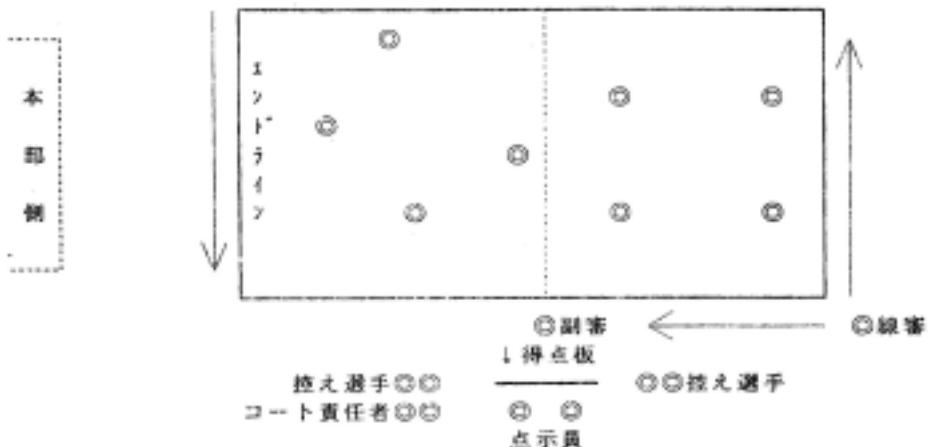


## コート責任者作業マニュアル

※審判員の配置と控え選手並びにコート責任者の位置  
 ○線審 → ○主審  
 →印は人の位置と数を表す。  
 →印は線審の分担場所を表す。



- ※ コートの近くにいる人は、必ず立った状態でいる様に注意して下さい。  
 （選手がボールを追いかけてきたときに危険ですから。）  
 コート責任者の人は、コート近くにおられる人（控え選手並びに次の試合の参加者や審判担当の方々）に気を付けて注意して下さい。

## 1 コート責任者の主な仕事

## 作業内容の説明

開会式までの作業内容については、「当日の役割分担と作業内容」の所を参考にして下さい。

- 試合をする2チームと審判担当2チーム（最後の方では1チームの場合があります。）をコートに集合させる。試合中に集合されたときは、集まられた人に、試合の邪魔にならないように注意して下さい。
  - 現在行われている試合が終了する旨処が付いたときに、黄色い旗で次の試合参加チームと審判担当チームに対して、集合を呼びかける。
 

黄色い旗を上げるタイミング

① 第1セットを取ったチームが、第2セットで「8点」と取った時点で旗を上げる。  
 但し、第1セットを落とした方が大きく（5点差以上）リードしている時は、ゲームの進行状況を見て判断して下さい。また、10点を越えて、どちらが勝つか判断の難しいときは、13点になった時点で旗を出して下さい。

② 第3セットまでいった時は、どちらかのチームが、「2点」を取った時点で旗を上げる。
  - どうしても集まらないチームがあるときは、本部にマイク放送の要請をして下さい。  
 この時には、専用の呼び出し用紙に「コート名」と「試合をするチーム」か「審判担当」か、それに「チーム名」と「監督者名」を参加申込用紙より確認して記入して下さい。  
 （時間がないときは、監督名を省いても構いません。）

2 集合が出来たら、審判担当 2 チームに主審・副審・線審・点示員を決めるように指示する。

#### 3 構成例

- ① 6 名の時 —— 主審・副審・線審（2名）・点示員（2名）
- ② 5 名の時 —— 主審・副審・線審（2名）・点示員（1名）1人で両チームの点を入れる。
  - 例 1 W チーム （主審・線審 1 人目・点示員 1 人目）  
U チーム （副審・線審 2 人目・点示員 2 人目）
  - 例 2 W チーム （主審・副審・点示員 1 人目）  
U チーム （線審 1 人目・線審 2 人目・点示員 2 人目）
- ③ 4 名の時 —— 主審・線審（2名）・点示員（1名）1人で両チームの点を入れる。  
主審・副審・線審（2名） 点示員はコート責任者の人でお願い致します。  
或いは、主審を本部で用意し  
副審・線審（2名）・点示員（1名）1人で両チームの点を入れる。

どちらのチームにも、主審の出来る人がおられないときは、本部まで連絡をして下さい。  
ソフトバレー ボール協会の方に、主審をお願いします。但し極力審判担当チームより出でもら  
ようにお願いをして下さい。また主審以外の副審その他について、代わりの方の用意はありま  
んので両チーム協議の上、人選をお願いいたします。

3 主審が決定したら、主審に試合参加チームの監督を紹介する。

主審並びに試合チームの監督に伝えること。

#### 1. 練習時間は両チーム合同で 3 分間。

（本來であれば試合前の練習時間はすべてに与えられるが、本大会では、まだ一度も試合を行っていないチームのみ、練習を行える事とする。）

○ 両チームとも初回の時は合同で 3 分間。

△ 片方のチームだけが初回の時は、両チームの話合いにより初回のチームだけで 3 分間練習を行うか、両チーム合同で 3 分間の練習を行うかを決定する。この決定は主審に任せること。

#### 2. 3 セット開始前に 2 分間の休憩があること。

#### 3. 3 セット目は 8 点先取で勝ちとする。またその時、4 点でコートチェンジを行う。

但し、準決勝からは正式なルール通り [15 点で、ジュースの場合は最高 17 点] で行いま  
主審並びに監督に「伝えること」が終わると、主審に「トスをしてサーブとコートを決め  
様」お願いし、結果を聞いて次の試合に備える。以上の作業が総て終わったら、進行中の試  
の邪魔にならないところで待機してもらう。なお各チームの監督は、コート責任者の近くに  
てもらうこと。

4 コート近くに人がいるときは、試合の邪魔にならないよう注意する。

1. 特に、コート近くで座っている人がいるときは、直ちに注意して立ってもらうようにする。

2. コート近くに人がいるときは、コートの両サイドにいてもらう。エンドライン側は、選手  
プレー上気が散って邪魔になるので注意する。

3. 担当のコートを含め、ボールがコート内に入らないよう注意する。

5 戰技中の試合が終わったら、

1. 直ちに次の試合の主審に連絡をして、ゲームの進行と運営をお願いする。

但し、7 試合目からは、開始前に 5 分間の休み時間をとります。

（注意 7 試合目とは、A コートの場合、トーナメント表の A - 7 )

例 1 A - 6 の試合終了後 5 分間の休み時間をとり、A - 7 の試合を開始する。

例 2 順々決勝以後は、後で試合の終わったコートの終了時間から 5 分間とする。

2. 試合用のボールと審判用の笛を回収する。

3. 試合結果記入用紙に、主審のサインをもらう。（本部への提出は次の試合開始後でよい。）

## コート責任者の作業手順（2名の内1名をAもう1人をBとして記入）

（コート係2名で、どちらが[A]か[B]かを決めて下さい。以下、AとBを別々に仕事内容を説明していきます。1部A・B共通のところ有り）主に試合進行順に説明していきます。

### —— 開会式前 ——

#### コート係 A が担当する仕事

##### I コートの確認

- ①審判台、得点板の配置チェック
- ②得点板にチョークがあるかどうか
- ③審判台のコート名チェック
- ④ネットが正しく張られているか。  
特に、ネットの下側が強んでいないか。
- ⑤マークが、しっかりと固定されているか。
- ⑥観客用の旗 2本
- ⑦トーナメント表・審判担当表
- ⑧打ち合わせ時に使用した資料

#### コート係 B が担当する仕事

##### I コート用備品のチェック

- ①試合用ボールのチェック (記入例)
  - 1. コート名の記入 Aコート
  - 2. 試合用ボールの記入 試合球
  - 3. ボールの大きさ 直径7.8±1cm  
ゲージにより確認
- ②審判用の笛
- ③呼び出し用の「青色い旗」
- ④資料はさみ（下敷き用）の手帳と筆記用具
- ⑤試合結果報告用紙 ----- 7枚
- ⑥チーム呼び出し用用紙 -- 9枚
- ⑦担当コートの参加チームメンバー表
- ⑧コート責任者用 資料

### —— 開会式終了後 ——

#### コート係 A が担当する仕事

##### I 第1試合並びに予選を行う2チームと審判担当2チームを翌日にコートに集合させる。

集まらないチームがあるときは、本部にマイク放送の要請をして下さい。この時には、専用の呼び出し用紙に「コート名」と「試合をするチーム」か「審判担当」か、それに「チーム名」と「監督・者名」を参加申込用紙より確認して記入して下さい。（時間がないときは、監督名を省いても構いません。）

##### II 競技参加チームと、審判担当チームがコートに来たら、チーム名と、監督の確認を行う。この時、審判を担当する2チームにより、主審・副審・観客・点数員を決めるように指示する。

主審が決まったら、試合参加2チームの監督と主審に対して運営上の説明を行う。「練習について」「3セット目の休憩時間」「3セット目の点数」説明が終わったら、主審に「トス」を行うよう指示する。結果を見いたら試合の邪魔にならない様に、待機してもらう。

##### III 打ち合わせ終了後、直ちに第1試合を開始する。（以後、主審にお願いすればよい）

①両チーム合同の練習を3分間行う。

#### コート係 B が担当する仕事

##### I 本部より以下の物を持ってコートに行く。

- ①試合用のボール
- ②審判用の笛・観客用旗
- ③呼び出し用の黄色い旗
- ④資料はさみ（下敷き用）の手帳と筆記用具
- ⑤記録用紙 ----- 7枚
- ⑥呼び出し用紙 - 9枚
- ⑦担当コートの参加チームメンバー表
- ⑧打ち合わせ資料と、運営資料

##### II ①副審が決まるまで、試合球を確保しておく

- 1. 準備用にボールを貸し出さない。
- 2. 副審が決まったら、試合球を副審に渡す
- ②主審が笛を持っていないときは用意してある笛を渡す。
- ③トスによりコートが決まったら、記録用紙 チーム名を記入する。
- ④得点板のチーム名が正しいかどうかチェックする。

- 6 試合結果を本部に報告する。
  1. 試合が終了して、次の試合が開始されてからで良いですから、試合の結果を報告して下さい。
  2. 報告に来られましたら、本部にあります【赤のボールペン】で勝者のチーム名のところに大きく丸印をつけて下さい。
- 7 4試合目終了後、休憩（昼休み）を取ります。  
(注意 4試合目とは、8コートの場合、トーナメント表のA-4)
  1. 4試合目終了時に、5試合目の集合時間を伝えて下さい。（12時35分）
  2. 4試合目の終了時間は、おおよその12時を予定しています。  
試合の進行が予定よりも大幅に遅れているときは、本部に相談して下さい。
  3. 5試合目は、12時40分より開始いたします。
  4. コート責任者の方々もこの時昼食を取るようにして下さい。
- 8 勝り決勝からはコートが変わることが有りますので、7試合目終了時点で勝者、敗者とともに、次に集合するコートを告げて下さい。  
勝者には、「次の試合は、\*\*\*\*\*コートで行います」と伝えて下さい。  
敗者には、「\*\*\*\*\*コートで審判があります」と伝えて下さい。
- 9 コート責任者の人の休憩時間を、特に設けていません。（一斉の休憩時間以外）コート係2で、話し合って適時休憩をして下さい。
- 10 けが人が発生したときは、直ちに試合を中断して、本人並びに周りの人に、「動かさないよう」言ってから本部に報告して下さい。また、ケガまで行っていなくても、足がつりそうな時は首の調子の悪そうな時には、審判に声を掛けて、本人に状態を確認する。また主審と相談し2、3分の休憩を検討し、その間にコールドスプレー等の簡単な治療を行うよう監督に言う。時にそのチームの監督に、選手の交代させるのか、続行するのか判断を促す。

## —試合が開始されたら（ここより2試合目以後にも適用）—

### コート係A が担当する仕事

- II 手が空いていれば、自分のコートのボールが遠く返転がって行かないようにボールのカバーをして下さい。但し、ボールを追って競技中のコートに入らない様に注意して下さい。

- III 競技参加チームと、審判担当チームがコートに来たら、試合の邪魔にならないようチーム名と、監督の確認を行う。この時、審判を担当する2チームにより、主審・副審・線審・点示員を決めるように指示する。

主審が決まったら、試合参加2チームの監督と主審に対して運営上の説明を行う。「練習について」・「3セット目の休憩時間」「3セット目の点数」説明が終わったら、主審に「トス」を行いうよう指示する。結果を聞いたら試合の邪魔にならない様に、待機してもらう。

- IV 黄色い旗で合図をしているのに集合しないチームが有れば、①か②の処理をしてください

- ① 第2セットで勝敗が決定しそうな時は、第2セットでリードしているチームが1点～1点になった時点で、本部に呼び出しの要請をして下さい。（呼び出し用紙の提出）本部では1回目の呼び出しを行います。また御苦労ですが、集合していないチームを探す様にして下さい。
- ② 第3セット進行きそうな時は、第3セットでリードしているチームが4点～5点になった時点で、本部に呼び出しの要請をして下さい。（呼び出し用紙の提出）。本部では1回目の呼び出しを行います。また御苦労ですが、集合していないチームを探す様にして下さい。

- V この間にチームが来たら、試合の邪魔にならない様審判を担当する2チームにより、主審・副審・線審・点示員を決めるように指示する。

主審が決まったら、試合参加2チームの監督と主審に対して運営上の説明を行う。「練習について」・「3セット目の休憩時間」「3セット目の点数」説明が終わったら、主審に「トス」を行いうよう指示する。結果を聞いたら試合の邪魔にならない様に、待機してもらう。

### コート係B が担当する仕事

- I 前回の試合の結果を、本部に報告をする。この時、本部にある赤ボールペンで勝った方のチームに赤丸印を付ける。
- II 手が空いていれば、自分のコートのボールが遠く返転がって行かないようにボールのカバーをして下さい。但し、ボールを追って競技中のコートに入らない様に注意して下さい。

- III 第2セット開始後、第1セットを取ったチームが、8点を取ったら黄色い旗を得点板の近くで上げ次の試合の参加チームに集合を促す。

第3セットまで行きそうなときは、第3セットで、どちらかのチームが2点を取った時点で黄色い旗を上げる。

（全チーム（試合参加2チームと審判の2チーム）が揃うまで黄色い旗は、上げておいて下さい。）

- IV 黄色い旗で合図をしているのに集合しないチームが有れば、①か②の処理をしてください

- ① 第2セットで勝敗が決定しそうな時は、第2セットでリードしているチームが1点～1点になった時点で、黄色い旗を出しつつコートの近くを、探し下さい。この時、あまり遠くまで行くと、探している間にコートの方に集合されかもしれませんので、コート近くを探すようにして下さい。
- ② 第3セット進行きそうな時は、第3セットでリードしているチームが4点～5点になった時点で、黄色い旗を出しつつコートの近くを探して下さい。この時、あまり遠くまで行くと、探している間にコートの方に集合されかもしれませんので。

- V 叫び出しの放送をして集合されたら、本部にチームが集合された事を連絡して下さい。

## ――試合が終了したら――

### コート係 A が担当する仕事

- I 試合終了時点で、次のチームが揃っている時は、直ちに次の試合を開始して下さい。  
但し、7試合目からは5分間の休憩を取って下さい。
  - ① 次の試合の関係者（試合参加者。審判担当者）が揃っている事を、主審に報告して「直ちに試合を開始して下さい。」と伝えます。
  - ② 以後、主審に任せます。
- II 試合が終了しても集合しないチームが有れば、直ちに本部に報告をして下さい。本部では、2回目の呼出を行います。本部では、この時より時間計ります。引き続きコート係の人は、御苦労ですがこの競技参加者並びに審判担当者を極力探しようにしてください。

2回目の呼出から、5分経っても集合しない時は、本部に相談して下さい。相談の結果①か②かを決定します。

- ① 試合参加チームの時は失格の放送を行います。  
この時点で、集まつておられるチームには2セット共〔15点〕が与えられ、一方の集合されていないチームは2セット共〔0点〕とし、集合されたチームの勝ちとします。
- ② 審判担当のチームの時は、先の審判人数の説明を参考にして集まつておられる1チームだけで、審判の分担をし試合を開始して下さい。P4参照

### コート係 B が担当する仕事

- I 試合が終了したら、
  - ① 点数表に点数の書き入れ、記録用紙に主審のサインをもらう。
  - ② 試合が終了したチームには、1.次の試合が行われるコートと、何試合後かを伝える。  
2.審判の担当が何試合後かを伝える。  
以上、2点を必ず伝えて下さい。
  - ③ 次の副審が決まるまで、試合球を確保しておく。
  - ④ 次の試合の主審が笛を持っていないときは用意して有る笛を渡す。
  - ⑤ トスによりコートが決まったら、記録用紙にチーム名を記入する。
  - ⑥ 得点板のチーム名が正しいかどうか確認する。
- II 試合が終了しても集合しないチームが有り、本部より、放送が行われて、参加者が見つかったり、自主的にコートに来られた時には、本部の方に報告をお願い致します。

### ※ 注意

次の試合参加者が、よそのコートで競技もしくは、審判を行っていることがあります。トーナメント表で確認をして下さい。